

木下順二『風浪』を読む！



● 木下順二

Junji Kinoshita (1914-2006)

劇作家。東京本郷生まれ。少年時代から旧制第五高等学校卒業まで熊本で過ごし、東京帝国大学英文学科を卒業。1941年同大学院修了。大学で中野好夫に師事、特にシェイクスピアを研究した。入営を前に初の戯曲『風浪』を書き上げ、1946年民話劇『二十二夜待ち』『彦市ばなし』『鶴女房』および『風浪』（改稿、1947）と次々と作品を発表、劇作家として認められた。歴史の弁証法とドラマの統一を追求。『赤い陣羽織』（1947）、1949年度毎日演劇賞に輝いた『夕鶴』などの民話劇と平行して、現代劇『山脈（やまなみ）』（1949）、『沖縄』（1961）、『オットーと呼ばれる日本人』（1962）、東京裁判（極東国際軍事裁判）を扱った『神と人とのあいだ』（2部・1972）など戦後を代表する戯曲を発表。また、『子午線の祀り』（1978、読売文学賞）は『平家物語』を題材にした壮大な叙事詩劇。1986年朝日賞受賞。国の賞や勲章は固辞した。



【講師】福田善之（ふくだ・よしゆき）

劇作家、演出家。東京生まれ。東京大学仏文科卒業。岡倉士朗、木下順二に師事し、長編戯曲『長い墓標の列』（1957）で認められた。以後『真田風雲録』（1962）、『オッペケペ』『袴垂れはどこだ』（1964）など、パロディの手法を交えたアクチュアルな戯曲を次々と発表、若い世代の共感をよんだ。『魔女伝説』『しんげき忠臣蔵』（1969）以後は新しい大衆劇の創造に向かい、『春のめざめ』『ピーター・パン』の演出を含め幅広く活躍している。ほかに戯曲『私の下町一母の写真』（1994）、評論『劇の向こうの空』（1995）など。

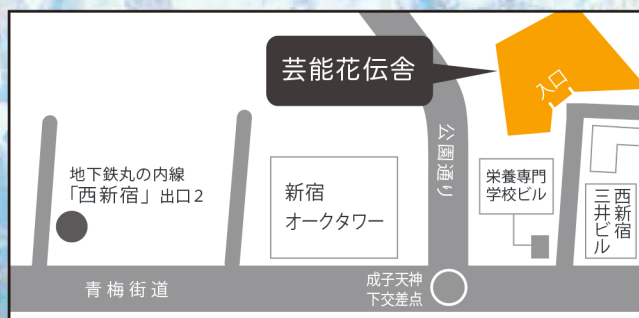
◆福田善之最新戯曲集『颯風のあと』（三一書房）

収録戯曲「私の下町③一ぼくの失敗」「新・ワーグナー家の女」

「新・妖精たちの砦一焼跡のピーターパン」「颯風のあと」「虎よ、虎よ」

会場 芸能花伝舎

東京メトロ丸ノ内線「西新宿」出口2より徒歩7分
新宿区西新宿6-12-30 ☎ 03-5909-3066



お問合せ・お申込

近代戯曲研修セミナー東京実行委員会
kindaigikyoku@yahoo.co.jp

☎ 070-5366-3614（シノモト）

一般社団法人 日本演出者協会
〒160-0023

新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F

☎ 03-5909-3074